

平成 25 年度事業報告書

自 平成 25 年 4 月 1 日

至 平成 26 年 3 月 31 日

公益財団法人 出光美術館

I. 事業活動

1. 概要

平成25年度は、本館において「源氏絵と伊勢絵展」、「古染付と祥瑞展」、「文字の力・書のチカラ展」、「仙厓と禅の世界展」「江戸の狩野派展」、「板谷波山の夢みたもの展」の企画展6展を開催した。また、出光美術館(門司)では(公財)出光佐三記念美術館との共催で企画展5展と通年常設展を開催した。出版事業としてカタログ6点、研究紀要第19号、館報163号～166号を発行した。企画展に関連した講演会は、東京で6回、門司で5回実施した。

5月21日より6月9日の間、6大学より12名の実習生を受け入れ、博物館学の実習指導を行った。美術品の貸出しは、36件289点であった。

2. 展覧会

本館

展覧会名	期間	開館日数	入館者数	人/日
・土佐光吉没後400年記念 源氏絵と伊勢絵 一描かれた恋物語	25. 4. 6～5. 19	40	33,021	826
・やきものに親しむⅩ 古染付と祥瑞 一日本人の愛した〈青〉の茶陶	25. 5. 25～6. 30	32	15,234	476
・文字の力・書のチカラⅡ 一書と絵画の対話	25. 7. 6～8. 18	39	20,062	514
・日本の美・発見Ⅷ 仙厓と禅の世界 特集展示:一休ゆかりの床菜菴コレクション	25. 9. 21～11. 4	41	20,369	497
・江戸の狩野派一優美への革新	25. 11. 12～12. 15	30	28,724	957
・没後50年・大回顧 板谷波山の夢みたもの 一〈至福〉の近代日本陶芸	26. 1. 7～3. 23	67	30,300	452
計:		249	147,710	593

出光美術館(門司) ※(財)出光佐三記念美術館との共催

展覧会名	期間	開館日数	入館者数	人/日
通年常設展示 ・サム・フランス	25. 4. 1～26. 3. 31			
企画展 ・花鳥のしらべ	25. 4. 5～6. 2	53	6,730	127
・青木木米と三代山田常山 一煎茶陶芸の系譜	25. 6. 7～8. 25	70	5,748	82
・勝川春章の美人画一北斎の生んだ浮世絵師	25. 9. 6～10. 27	48	6,693	139
・中国・明清陶磁の至宝一官窯の洗練、民窯の創造	25. 11. 1～26. 2. 2	78	6,876	88
・合戦図屏風 一源平合戦から武蔵の時代まで	26. 2. 7～3. 30	46	5,367	117
計:		295	31,414	106

中近東文化センター附属博物館

展 覧 会 名	期 間	開館日数	入館者数	人/日
出光美術館名品展	25. 4. 1~25. 3. 31	193	1, 142	6

出品協力

展 覧 会 名	期 間	開館日数	入館者数	人/日
「出光コレクション ジョルジュ・ルオー」 尾道市立美術館	25. 3. 20~5. 12	49	7, 718	158
周南市誕生10周年記念「出光美術館名品展」 周南市美術博物館	25. 6. 7~7. 21	39	9, 147	235
「出光美術館 日本陶磁器名品選」 北海道苫小牧市美術博物館	25. 7. 7~8. 25	26	5, 045	194
宗像大社献茶祭	25. 10. 17	1		

3. 出版物の発行

(1) カタログ

「源氏絵と伊勢絵—描かれた恋物語」	平成25年4月5日
「古染付と祥瑞—日本人の愛した〈青〉の茶陶」	平成25年5月25日
「文字の力・書の手カラⅡ」	平成25年7月3日
「仙厓と禅の世界」	平成25年9月19日
「江戸の狩野派」	平成25年11月8日
「板谷波山の夢みたもの」	平成26年12月26日

(2) 研究紀要第19号

平成26年3月31日

◎ 狩野尚信筆「猿曳・酔舞図屏風」	宗像 晋作
◎ 俗中の雅—勝川春章の肉筆美人画に関する試論	廣海 伸彦
◎ 仙厓晩年の古社寺への旅—宗像大社をめぐる仙厓作品紹介	八波 浩一
◎ 田能村竹田研究総論	黒田 泰三
◎ 小杉放菴の名勝画冊—石濤筆「黄山八勝画冊」の周辺	出光 佐千子
◎ 板谷波山の意匠設計(1)チューリップ—逃れゆく花、多義性の花	柏木 麻里
◎ 続歌と短冊(2)	別府 節子
◎ 書の鑑賞教育プログラムⅢ—高等学校・芸術科(書道)における実践と課題	笠嶋 忠幸

(3) 館報

ア. 第163号 平成25年5月31日

◎第284回 水曜講演会

シュメル銅製釘人形—日本へ伝播シタ習慣

小林 登志子

◎中国古代の青銅器

— “不思議? ビックリ! おもしろい” きつと?!

八波 浩一

◎館蔵中国青銅器実測図・拓本選(32)

饗饗文弧

◎ 2012年度事業報告

イ. 第164号 平成25年8月31日

◎館蔵品紹介

◎後小松天皇筆『詠百首倭哥』

別府 節子

◎元青花磁器の早期類型の新発見

—実証的観点から元青花磁器の起源を論じる—

黄薇・黄清華
(金沢陽 訳註)

◎館蔵中国青銅器実測図 ・ 拓本選(33)

饗饗文弧

ウ. 第165号 平成25年11月30日

◎『合戦図屏風』展にちなんで

宗像 晋作

◎第286回水曜講演会

江戸城・大名藩邸出土の中国陶磁

堀内 秀樹

◎館蔵中国青銅器実測図 ・ 拓本選(34)

円渦夔龍文有蓋簋

エ. 第166号 平成26年2月28日

4. 講演会

(1)本館

回	演題	講師	開催日	聴講者数
285	「土佐光吉再評価」	相澤 正彦	25. 4. 24	135
286	「江戸城・大名藩邸出土の中国陶磁」	堀内 秀樹	25. 6. 5	146
287	「書のチカラを探る～書家と学芸員の対話」	金子 大蔵	25. 7. 17	127
288	「日本の美・発見Ⅷ 禅画を通じた仙厓の禅思想」	衛藤 吉則	25. 10. 9	123
289	「江戸の狩野派 -探幽私論-」	河野 元昭	25. 11. 20	140
290	「板谷波山の時代と工芸界」	木田 拓也	26. 1. 29	133

(2)出光美術館(門司)

演題	講師	開催日	聴講者数
「日本美を味わう—花鳥の純なる旋律」	出光 佐千子	25. 5. 20	95
「煎茶陶芸の楽しみ～愛らしき極小の手仕事」	柏木 麻里	25. 7. 29	110
「北斎が春章から学んだもの」	廣海 伸彦	25. 9. 30	69
「明・清時代の景德鎮磁器を大発展させた官窯と民窯の関係」	金沢 陽	26. 1. 20	98
「合戦図の歴史と鑑賞 一源平合戦図を中心に」	宗像 晋作	26. 3. 10	83

5. 博物館学の実習指導(本館)

(1)実習期間 平成25年5月27日～6月1日

平成25年6月10日～6月15日

平成25年6月17日～6月22日

(2)実習人員

青山学院大学	1名
学習院大学	3名
共立女子大学	3名
昭和女子大学	1名
大東文化大学	2名
実践女子大学	2名
日本女子大学	2名
東京学芸大学	1名
合計:	15名

6. 基本財産処分および購入

7. 美術品の修復

重要文化財等について修復を行った

(1) 文化庁および東京都の助成金による修復

①「真言八相行状図」八幅 予定修復期間:平成20年6月～平成27年3月

平成25年度修復費用:16,594,200円、うち国庫補助金 9,162,000円、

東京都補助金 4,123,000円

②「紙本墨画山市晴嵐図」 予定修復期間:平成25年5月～平成27年4月

平成25年度修復費用:2,501,200円、うち国庫補助金 1,250,000円、東京都補助金 625,000円

(2) 出光文化福祉財団の助成による修復

「吉野・龍田図屏風」 修復期間:平成25年2月～平成27年1月

修復費用総額 12,470,000円。平成25年度 修復費用 6,810,000円 (全額助成金)

8. 本館の改修

8月20日から9月13日の間本館の改修工事を行った。第三展示室の展示スペースを拡大するとともに展示ケース上部を金属板で覆い、天井からの漏水があっても美術品に及ばないようにした。

工事総額は 122,778,495円で、そのうち資産取得は建物勘定(指定財産)68,144,444円、備品勘定(指定財産)43,537,618円であった。この費用の内、

70,000,000円は(公財)出光文化福祉財団からの助成金で行った。

9. 美術品購入

出光興産株式会社から以下の美術品 120点を 43,102,500円(消費税込)で購入した。

仙 厓 七福神画賛他	19 作品
和田 三造 いつも会う道他	15 作品
板谷 波山 彩磁牡丹文様香炉他	4 作品
其の他絵画	82 作品
合 計	120 作品

10. 重要文化財の指定

今年度はなかった。

11. 5館連携

平成22年に開始した出光美術館、ブリヂストン美術館、三井記念美術館、三菱一号館美術館の四館の連携活動は、25年10月から東京ステーションギャラリーが加わり五館の活動となった。

五館で共通の「東京駅周辺美術館MAP」を作成した。MAPには割引特典を付与し、それぞれの関係先に配置・配布することとした。10月以降の利用者は当館で延べ680名、五館で3,370名であった。

25年1月から販売した四館共通券は当館では4月以降1,914名(合計2,935名)の入館実績となった。

26年1月からは新たに五館共通券として販売を始めた。3月までに985枚を販売し、993名入館があった。

五館では4,124枚販売し、延べ4,525名の利用があった。

12. 施設の無償貸与

(財)中近東文化センターと締結した建物使用貸借契約(平成4年4月1日締結)にもとづき基本財産である東京都三鷹市大沢3丁目10番31号の土地・建物を引き続き無償で貸与した。

(財)中近東文化センターは、特定公益増進法人であり、当該建物をトルコを中心とした中近東文化の研究施設として活用し、その成果を展覧会や講演会の形で一般に公開している。

Ⅱ 総務事項

1. 役員会

(1) 下記の理事会に各議案を付議し、原案通り可決された。

開催月日	議案
第7回理事会 平成25年6月13日	1. 平成24年度事業報告および平成24年度収支決算報告について 2. 美術品の基本財産への繰入について 3. 第1～第3展示室の漏水防止対策工事について 4. 「本館建替資金資産取扱規程」および 「美術品管理修復引当資産取扱規程」の制定について 5. 理事長および常務理事の職務執行状況について
第8回理事会 平成26年3月13日	1. 平成26年度事業計画および平成26年度収支予算について 2. 美術品購入について 3. 基本財産繰入額の修正について 4. 減価償却引当資産取扱規程について 5. 定款改訂について評議員会に諮ることについて

(2) 下記の各議案の提案書について理事全員の同意を得、原案通り可決された。

臨時理事会(書面による決議) 平成26年1月10日	1. 収益事業を公益事業に変更することを内閣府に申請すること 2. 1で変更認定申請をするにあたっての平成26年度事業計画 及び収支予算について
------------------------------	--

(3) 下記の評議員会に各議案を付議し、原案通り可決された。

開催月日	議案
第4回評議員会 平成25年6月13日	1. 平成24年事業報告について 2. 平成25年事業計画および収支予算について 3. 「本館建替資金資産取扱規程」および 「美術品管理修復引当資産取扱規程」の制定について

2. 登記

登記に関する事項はなかった

3. 官公署・届出その他

- (1)平成25年6月27日に平成23年度事業報告および収支決算報告を内閣府に提出した。
- (2)平成25年7月30日に決算公告を官報に掲載した。
- (3)平成26年1月13日に収益事業を公益事業に変更するための申請を内閣府に提出した。
- (4)平成26年2月21日付けで上記(3)が認定された。
- (5)平成26年3月27日に平成25年度事業計画および収支予算を内閣府に提出した。

4. 役員

役名	氏名	就任年月日	現職務
理事	出光 昭介	昭56. 7. 17	出光興産(株)名誉会長
〃	長谷部 楽爾	昭63. 6. 16	東京国立博物館名誉館員
〃	福 岡 正 夫	平 1. 6. 22	慶應義塾大学名誉教授
〃	藤 山 覺一郎	平13. 7. 26	集成産業(株)相談役
〃	河 合 正 朝	平19. 3. 15	千葉市立美術館館長
〃	河 野 元 昭	平24. 4. 1	秋田県立近代美術館館長
〃	大 和 宏 康	平22. 7. 15	(公財)出光美術館 館長代理
〃	黒 田 泰 三	平26. 6. 12	(公財)出光美術館 学芸部長
	理事 計8名		
監事	長 岡 實	平10. 4. 28	(公財)資本市場研究会 顧問
〃	保 田 博	平16. 10. 25	(公財)資本市場振興財団 顧問
	監事 計2名		
評議員	渋 沢 雅 英	昭55. 9. 25	(公財)渋沢栄一記念財団理事長
〃	鈴 木 勲	平 4. 1. 23	(公社)日本弘道会会長
〃	古 河 潤之助	平 9. 3. 6	古河電気工業(株)相談役
〃	出 光 正 和	平19. 3. 15	日章興産(株)取締役
〃	大 倉 健 資	平26. 6. 12	ヘンミ計算尺(株)代表取締役
〃	原 田 征 夫	平26. 6. 12	元出光興産(株)副社長
	出 光 正 道	平26. 6. 12	日章興産(株)
	評議員 計7名		

5. 職員

館長代理 大 和 宏 康

総務課長 風 早 邦 夫

ほか職員 21名

職員合計 23名(うち男12名、女11名)

以上